



たまな市議会だより

平成28年
9月定例会
平成28年11月1日発行
NO.44



- 臨時会報告…………… P2
- 定例会報告…………… P3～P4
- 委員会報告…………… P5～P6
- ここが聞きたい！一般質問 13名登壇… P7～P13
- 視察研修報告…………… P13～P15
- 市民の声「消防団活動を通して」…………… P16

今年も有明海に「ノリの養殖」のシーズンが来た！
写真は横島町の中尾さん親子で、ノリ網の支柱
立ての様子です。



玉名市マスコット
「タマにゃん」

熊本地震対策補正

2億870万2千円

第4回臨時会(8月)

平成28年第4回臨時会が8月10日開催された。専決処分事項1件、工事請負契約の締結3件、変更1件については、各常任委員会に付託され、本会議において全員賛成で可決承認した。

今回の主な補正予算

◎熊本地震被災者支援費	7千6万6千円
◎災害復旧費	1億3千863万6千円
(内訳)	
◎被災住宅等復旧事業補助金	7千万円
◎農地農業用施設災害復旧費	3千505万3千円
◎林業施設災害復旧費	300万円
◎漁港災害復旧費	550万円
◎道路橋りょう災害復旧費	2千882万2千円
◎河川災害復旧費	6千626万1千円

工事請負契約の締結

◎玉名町小学校教室棟改築工事	14億7千960万円
◎玉陵小学校プール建築工事	1億4千882万4千円
◎玉陵小学校校舎新築及び玉陵中学校校舎改修工事	15億7千140万円

工事請負契約の変更(熊本地震の影響による変更)

◎玉名漁港(大浜地区)しゅんせつ工事	2工区
(変更後)	2億526万1千403円

平成28年第4回 臨時会議案の審議結果

■全会一致で可決した議案

議番号	議案名
議第77号	専決処分事項の承認について 専決第10号 平成28年度玉名市一般会計補正予算(第4号)
議第78号	工事請負契約の締結について (玉名町小学校教室棟改築工事)
議第79号	工事請負契約の締結について (玉陵小学校プール建築工事)
議第80号	工事請負契約の締結について (玉陵小学校校舎新築及び玉陵中学校校舎改修工事)
議第81号	工事請負契約の変更について (玉名漁港(大浜地区)しゅんせつ工事2工区)

玉陵小学校校舎新築・玉陵中学校校舎改修、玉名町小学校教室棟改築工事開始!!

平成30年4月開校に向けて平成28年8月31日「玉陵小学校」の校舎、プール新築工事安全祈願祭が執り行なわれた。今後隣接する玉陵中学校校舎改修も行なわれ、玉名市初の小中学校施設一体型の小中一貫教育を推進する学校となる。

また、平成28年9月10日には玉名町小学校教室等改築工事の安全祈願祭が執り行なわれた。

「玉陵小学校」・・・梅林小学校、月瀬小学校、玉名小学校、石貫小学校、三ツ川小学校、小田小学校を統合する。



▲江田副議長による玉名町小学校工事安全祈願祭「玉串奉奠」



▲永野議長による玉陵小学校工事安全祈願祭「鍬入れの儀」

熊本地震関連予算含む 一般会計補正予算9億8千849万6千円決定

第5回定例会(9月)

平成28年第5回定例会が9月2日から9月27日まで開催された。28年度一般会計・特別会計等補正予算、条例制定、人事案件などを慎重に審議し、22件を原案どおり可決した。また平成27年度決算議案10件については、本会議開会日に設置した決算特別委員会へ付託し、継続審査とした。(10月24日～26日に決算特別委員会開催)

また、議会最終日には、議会基本条例検討特別委員会を設置し、議会が二元代表制の一翼である議決機関として、責任ある議会活動が求められる中、議会のあるべき姿や議員の活動理念を掲げる「議会基本条例」制定に向け動き出した。

一般会計補正予算の主なものは

- ◎ 財政調整基金積立金……………5億5千604万1千円
 - ◎ 熊本地震災害廃棄物処理事業……………5千90万4千円
 - ◎ 被災農業者向け経営体育成支援事業補助金……………1億6千355万2千円
 - ◎ 災害弔慰金……………500万円
 - ◎ 消防施設等整備補助金……………905万円
 - ◎ ふるさと応援旅行券事業補助金(平成29年1月～3月)……………3千300万円
- その他、陳情・請願

北坂門田地区・中坂門田地区・南坂門田地区の坂門田川水系における水田構造改善事業を求める陳情と、玉名小学校区の自然を守り景観に配慮し、子どもから大人まで住みよい環境となるような計画的な地域づくりを求める陳情については、今後も検討が必要であることから継続審査とした。

また継続審査となっていた玉名第1保育所の一刻も早い建てかえを求める請願は、一刻も早い園舎建てかえについては採択し、建てかえ場所については不採択とした。

主な討論

請第5号第1

保育所の一刻も早い建てかえを求める請願

原案賛成

横手良弘議員

「一刻も早い園舎の建てかえ」については採択、一方「建てかえ場所」については不採択という、即座に旧庁舎跡地での建設はありえない、という文教厚生委員会の結論はあまりにも乱暴すぎだと思う。反対するのであれば、理由を請願者に示す必要があり、委員会としてベストな候補地を提示すべきである。

議第106号

財産の取得について

原案反対

前田正治議員

購入する駅前の土地を新玉名駅の駐車場とするならば目的外使用に該当しないようにするために、新幹線利用者から駐車料金をもらう必要がある。混雑の原因は何日間駐車しても無料にある。今日、議会ではその見直しを求めている。無料継続で、また、多額の市税を投入することには賛成できない。JR九州が整備すべきだ。

平成28年第5回定例会 議案の審議結果

■全会一致で承認、可決した議案

議番号	議案名	議番号	議案名
議第92号	平成28年度玉名市一般会計補正予算(第5号)	議第103号	玉名市税条例の一部を改正する条例の制定について
議第93号	平成28年度玉名市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	議第104号	玉名市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
議第94号	平成28年度玉名市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	議第105号	有明広域行政事務組合の規約の一部変更について
議第95号	平成28年度玉名市浄化槽整備事業特別会計補正予算(第2号)	議第107号	教育委員会委員の任命について
議第96号	平成28年度玉名市水道事業会計補正予算(第2号)	議第108号	公平委員会委員の選任について
議第97号	平成28年度玉名市公共下水道事業会計補正予算(第2号)	議第109号	平成28年度玉名市一般会計補正予算(第6号)
議第98号	玉名市自治基本条例の制定について	議第110号	玉名市附属機関の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議第99号	玉名市職員の退職管理に関する条例の制定について	議第111号	玉名市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議第100号	玉名市附属機関の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	議員提出第1号	決算特別委員会の設置について
議第101号	玉名市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	議員提出第2号	議会基本条例検討特別委員会の設置について
議第102号	玉名市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について		

■継続審査となった議案

議番号	議案名	議番号	議案名
議第82号	平成27年度玉名市一般会計歳入歳出決算	議第88号	平成27年度玉名市九州新幹線濁水等被害対策事業特別会計歳入歳出決算
議第83号	平成27年度玉名市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	議第89号	平成27年度玉名市水道事業会計決算
議第84号	平成27年度玉名市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	議第90号	平成27年度玉名市公共下水道事業会計決算
議第85号	平成27年度玉名市介護保険事業特別会計歳入歳出決算	議第91号	平成27年度玉名市農業集落排水事業会計決算
議第86号	平成27年度玉名市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算		
議第87号	平成27年度玉名市浄化槽整備事業特別会計歳入歳出決算		

■賛否の分かれた議案

○…賛成 ×…反対

議案	北本将幸(無党派)	多田隈啓二(無党派)	松本憲二(自友)	徳村登志郎(公明)	城戸淳(新生)	西川裕文(新生)	嶋村徹(市民)	内田靖信(自友)	江田計司(無党派)	田中英雄(市民)	横手良弘(市民)	近松恵美子(無党派)	福嶋讓治(無党派)	宮田知美(市民)	前田正治(共産)	作本幸男(新生)	森川和博(保守)	高村四郎(自友)	中尾嘉男(無党派)	田畑ひさよし(保守)	小屋野幸隆(保守)	竹下幸治(市民)	吉田きとく(保守)	永野忠弘(自友)	議決結果	
議第106号 財産の取得について(新玉名駅周辺駐車場[大坊迫間線駐車場整備事業8,460㎡])	○	○	×	○	×	×	○	×	×	○	○	×	×	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議長	原案可決(賛14、反9)

※市民ク…市民クラブ/新生ク…新生クラブ/自友ク…自友クラブ/保守前進ク…保守前進クラブ/無党派…無党派

請願・陳情 審議結果

件名	所管委員会	委員会結果	本会議最終結果
請第5号 玉名第1保育所の一刻も早い建てかえを求める請願	【第1項】 園児の安全を第一に考えていただき、一刻も早い園舎建てかえを行なってください。	採択(全員一致)	採択(全会一致)
	【第2項】 保育ニーズに合った園舎の立地場所は、現在地または現在地周辺と考えるため、現在地への建てかえが困難であるならば、旧庁舎跡地に園舎の建設をしてください。	文教厚生委員会	不採択(賛成なし)
陳第7号 北坂門田地区、中坂門田地区、南坂門田地区の坂門田川水系における水田構造改善事業を求める陳情	建設経済委員会	継続審査(全員一致)	継続審査(全会一致)
陳第8号 玉名小学校区の自然を守り景観に配慮し、子どもから大人まで住みよい環境となるような計画的な地域づくりを求める陳情	総務委員会	継続審査(全員一致)	継続審査(全会一致)

人事

各委員についてそれぞれ同意しました。(敬称略)

★教育委員会委員 よしむら やすこ 吉村 泰子(横島地区)

★公平委員会委員 あらき ひでたか 荒木 秀高(岱明地区)

熊本地震後の処理対策と新しく循環バスが走る！ 総務

平成28年9月15日・27日開催

■予算2件・条例6件・陳情1件
その他1件

■主な審査項目

- ・28年度一般会計補正予算
- ・自治基本条例の制定
- ・職員の退職管理に関する条例の制定
- ・特別職の職員で、非常勤のもの
の報酬及び費用弁償に関する
条例の一部を改正する
条例の制定

■主な質問と回答

Q、今回の熊本地震において、消防団が出勤し詰所を解体したとき手当はあるのか。

A、今回の熊本地震における詰所解体等に伴う手当については、消防団正副団長と協議を行なう。

Q、循環バスのラッピングで192万円も必要か。

A、ラッピングを行う業者から見積もりをとって提案している。デザインについては、循環バス導入を市民に広く周知し、利用促進を図ることをねらいとして、地域の児童から似顔絵を描いてもらいデザインとして使うこととし、タマにゃんのイラストも描いて、カラフルなバスにするためにこの金額となっている。

Q、震災の処理費5千90万4千円の中には、公費解体分と一部損壊などへの解体の処理費用も全部含まれているのか。

A、今回の補正予算は、公費解体の処分費のみであるが、松木の「水の守」には一部損壊家屋の瓦に限って持ち込みをさせている。

Q、玉名市自治基本条例を制定する以上は、市民に十分理解、周知しなければと思うが。

A、周知については市の広報誌やホームページを中心に行う。

Q、玉名市職員の退職管理に関する条例は、いわゆる天下りの廃止などが。

A、元職員が営利企業等に就職することは自由だが、元職員の地位を利用して不正な働きかけを規制するもの。

■陳情

玉名小学校区の自然を守り景観に配慮し、子どもから大人まで住みよい環境となるような計画的な地域づくりを求める陳情は、この地域においていろいろな状況が今後あり、もう少し時間をかけて検討したいとの意見で、継続審査となった。

ふるさと旅行券は前回と同様のやり方で実施予定 建設経済

平成28年9月16日開催

■予算4件・その他1件・陳情1件

■主な審査項目

- ・28年度一般会計補正予算
- ・財産の取得

■主な質問と回答

Q、玉名温泉・小天温泉ふるさと応援旅行券事業はどういうやり方を考えているか。

A、前回は転売防止のため、旅行商品を販売し、たまララで割引券を発行する形をとった。たまララに来るのが面倒だという話も聞いたが、5千5百円分の割引と千円分のお買い物券がついているということを利用しては好評だったと認識している。今回はお買い物券は未定だが、事業内容については基本的に同じやり方を考えている。

Q、玉名版DMO構築事業に関して、現在の玉名版DMOの状況は。

A、一般社団法人玉名観光協会が日本版DMO候補法人として観光庁に登録された。玉名版DMOの組織の構築には5年ほどかかると想定している。その後、マーケティングをしながら、地域の実情にあった、柔軟性を持ちつつも継続性がしっかり確

立された組織体になつていければと考えている。

Q、がけ地近接等危険住宅移転事業補助金について。

A、土砂災害特別警戒区域や熊本県建築基準条例の範囲内にある既存不適格住宅であれば補助の対象となるが、崖の高さと建築時期で条件があり、違反住宅では対象にならない。

■陳情

北坂門田地区、中坂門田地区、南坂門田地区の坂門田川水系における水田構造改善事業を求める陳情については、事業の費用や地元の負担、現状について質疑があり、委員から、地区の区長さん方からの将来を思っている陳情なので、まずは執行部から地区に対して、金額面なども含め説明会などを開催してはどうかとの意見があった。

また委員から、実情などはつきりわからないことが多く、内容を十分把握するため、継続審査にしてはどうかとの意見があり、採決の結果、継続審査とした。

(注)DMOとは、多様な関係者と協同しながら、地域の「稼ぐ力」を引き出し、「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりのかじ取り役となる法人。

熊本地震一部損壊の修復補助金は一人の漏れなく対応を!

文教厚生

平成28年9月20日・27日開催

■予算4件・条例3件・請願1件(継続審査)

■主な審査項目

- ・28年度一般会計補正予算
- ・28年度国民健康保険事業特別会計補正予算
- ・28年度介護保険事業特別会計補正予算
- ・国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定
- ・玉名第1保育所の一刻も早い建てかえを求める請願(継続審査)

■主な質問と回答

Q、温泉施設への送迎用福祉バスの利用状況は?

A、玉名管内2台の利用実績は合計で1万134名で前年度から250名増加している。

Q、介護施設に補助する介護ロボットとはどのようなものか。また施設の負担はあるのか?

A、介護者が肩に装着し、負担を軽減するマッスルスーツと在宅高齢者等の行動を感知して知らせる犬型ロボットで、1事業所当たり92万7千円の補助。これを超える分は事業所の負担。

Q、熊本地震により災証明書と一部損壊の修復補助金

申請数は?

A、全壊世帯9件、大規模半壊12件、半壊69件、一部損壊1千625件。家屋の一部損壊修復補助金の申請件数は706件となっている。

Q、熊本地震で被害を受けた文化財復旧の要望はしているのか?

A、永安寺東古墳や西古墳は国指定の文化財のため国の補助、天水町の大塚古墳は県指定のため県の補助での修復を計画している。また、梅林天満宮の鳥居は、国登録の有形文化財で補助の枠組みがないため市単独で復旧を行なう。その他、未指定の文化財については、支援の枠組み自体がないことから、基金を設け支援ができないから、県で検討されている。

■請願(継続)

玉名第1保育所の一刻も早い園舎の建てかえを求める請願は、「旧庁舎跡地及び周辺開発計画の再検討を求める陳情」との整合性と建てかえ場所が限定されている点などから、「園児の安全を第一に考えていただき、一刻も早い園舎の建てかえを行なうてくください。」との部分のみの一部採択となった。

岱明町公民館建設

意見交換会での説明はいかに!

公共施設等建設

平成28年8月17日開催

■岱明町公民館建設事業

Q、熊本地震を受けて岱明町ふれあい健康センターは避難場所として多くの利用があったが、公民館との併設建てかえではどうなるのか?

A、熊本地震では、ふれあい健康センターの和室を避難所として利用した。現岱明町公民館は老朽化が著しく避難所として利用できなかった。併設複合化で和室に加えて講堂も避難所として開設できるように検討している。

Q、ふれあい健康センターと併設して建設する前提で意見交換会が開催されているが併設が現在地建てかえかの話し合いはあったのか?

A、意見交換会では施設や備品等に対する要望はあったが現在地への建てかえ以外は考えられないとの意見はなく、おおよそ理解が得られたものと考ええる。

Q、ふれあい健康センターの利用低下が併設複合化の理由の一つであると思われるが利用者を増やす努力はしたのか?

A、温泉フリーパス1年券の導入。これまでの入館料を廃止して浴場使用料に改めるな

ど利用向上に努めている。

■天水支所周辺施設集約化事業
Q、大研修室ホールに可動間仕切りの設置はできないのか?

A、十分検討はしたが、移動に要する時間や維持管理費用、格納スペースの問題から設置を断念した。

■市庁舎跡地利用

Q、旧庁舎東側の市道拡幅についても市庁舎跡地利用計画に含めて進めてもらいたい。

A、玉名第1保育所の建てかえ用地決定後、新たな基本構想策定の際には市道の拡幅も含めて考慮する必要がある。

■サッカー場建設

Q、伊倉中北地区の候補地は進入道路が限られ渋滞が懸念される。桃田運動公園に隣接する理由があるのか?

A、サッカー場建設検討委員会であげられた候補地の中で選定すべきとの判断から候補地を提出している。現時点では、桃田運動公園周辺での一体的な整備が適当との検討結果である。



西川 裕文
(新生クラブ)

玉名市地震防災マップ 再作成は？

議員 熊本地震を踏まえ、平成22年2月作成の防災マップの再作成時期と避難所に公民館を加えることは。

総務部長 地震防災マップの改定版を平成29年5月に全世帯を対象に配布予定。また、地域の公民館は、指定避難所として指定しないが、迅速に避難できる場所として活用を検討する。

議員 今年度から業務委託形式となつたふるさと寄附金の現状はどうか。

総務部長 ふるさと寄附金の本年度8月末までの実績は、149名、180万円で、昨年度同時期と比べ大幅に増えている。インターネット利用による利便性向上などが増加の理由と考える。

議員 玉陵小中学校、玉名町小学校には新築、改築により空調設備が完備される。学ぶ場の平等という立場から、他の学校の空調設備はどうなのか。

教育部長 市内の全小中学校への導入に当たっては、それぞれの学校の大規

模改修や学校再編の時期等を考慮して、計画的な空調設備の整備に取り組んでいく。

議員 長洲町を除く3町と定住自立圏形成の協定書の締結がなされたが、長洲町との締結はどうなるのか。

企画経営部長 圏域形成には双方の合意が必要であり、結果的に長洲町と協定締結に至らず非常に残念に思うが、玉名圏域定住自立圏の門戸は常に開いており、今後の参画に期待している。

議員 下水道のリサイクルは、現在どの程度行なわれているのか。

企業局長 処理の過程で発生したメタンガスは、一部はボイラーの燃料として、その他は焼却処分。場内で発生した汚泥は、すべて業者に処分を委託し、処分業者が全量をたい肥化している。



▲玉陵小学校校舎及びプール新築工事安全祈願祭



徳村 登志郎
(公明党)

B型肝炎ワクチン 定期接種について

議員 10月からの接種計画及びその周知は、3歳児までのすべての子どもたちへの任意接種助成はできないか。

健康福祉部長 国の定期接種実施要領により、医師会や近隣の自治体とともに事業を進めている。現在、予防接種健康被害の問題等も考慮し、国が定めた対象年齢以外の補助は考えていない。

熊本地震後の防災について

議員 被災者台帳「生活再建支援システム」の導入・運用の考えは。

健康福祉部長 現在、地震発災時の被害家屋認定作業及びそれに連動する被災証明発行業務に限定し使用しているが、被災者支援に十分役立つかどうか見きわめ、導入を検討していきたい。

議員 災害時におけるトイレの考えは。

総務部長 トイレ環境が劣悪になることを考慮し、新設される公共施設建設時に、迅速に対応できるマンホールト

イレ等の設置を関係課と協議する。

議員 学校の「非常食の備蓄」が必要ではないか。

教育部長 各給食センター及び自校式の給食室に、毎年給食費で購入した1食分の乾パンを児童・生徒全員分保管しているが、交通機関の途絶等に対応できない状況も想定されるため慎重に検討する。

玉名市の英語教育について

議員 0〜3歳児を対象に親子で英語に触れ合う場の開催はできないか。

健康福祉部長 0〜3歳児は言語獲得の重要な時期であり、親子の語りかけ等日本語の言語発達を保証することが重要である。親子で英語に触れ合う場については英語教育の遅れを親が不安視する実態を見て検討する。



▲エンジョイイングリッシュの授業風景(大野小学校)



吉田 きとく
(保守前進クラブ)

さあ！次は東京、レスリングキャンプ地誘致を

議員 東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地誘致について 市民の盛り上げのために、リオ五輪レスリングメダリストを招き、玉名レスリング教室、誘致推進大会を開催したらどうか。

市長 レスリング教室・大会を開催することは、キャンプ地誘致に向けての盛り上がりには欠かせないものと考えており、レスリング競技団体や関係機関と協議していく。

議員 教育問題①総合型地域スポーツクラブの移行スケジュールについて②アクティブ・ラーニングの実例と見解について③小学校の英語の成績評価について。

教育部長 ①平成29年度が設立前の最終の準備業務となり、30年度及び平成31年度の設定後2年間は、クラブ運営が軌道に乗るための支援を行なう。

②熊本型授業の能動型学習により主体



▲リオ五輪・女子レスリング日本代表コーチの志土地氏(玉名工出身)

的に考え、対話的な深い学びを取り入れた授業の推進を図っている。③小学校高学年の外国語活動では「関心・意欲・態度」「なれ親しみ」「気付き」の3つの観点について、活動の様子を指導者が記述による評価を行なう。

議員 熊本地震による玉名市内の液化化現象について市内の発生状況と対応について。

産業経済部長 液化化現象とは、砂質地盤が地震の際に液体のように噴き出す現象である。本市の農地において、横島地区34カ所、大浜地区27カ所の計61カ所でこの現象が確認された。市の対応としては、全箇所を立ち会い・調査の上、農地等災害復旧事業補助金及び玉名市農地小規模災害復旧事業補助金等により、復旧を行なっていく。



前田 正治
(共産党)

保育所待機児童ゼロ、及びサービス残業対策

議員 待機児童が解消しない原因の分析及び29年度待機児童ゼロの見込みはあるか。

健康福祉部長 現在の待機児童は25名

で、核家族化の進行や女性の社会進出による入所児童の増加・低年齢化が原因と考えている。平成27年度に100名、28年度には35名の定員増を図ったが待機児童の解消には至っていない。

市長 本年度、園舎建てかえにより、さらに私立保育所の定員増を図り、来年度以降も私立保育所の定員増や、幼稚園から保育機能を持つ認定こども園への移行等により待機児童の解消に努める。

議員 保育士の賃金や交通費の引き上げなど処遇改善が必要ではないか。

健康福祉部長 待機児童の解消においては、受け皿の確保と同様に、保育所入所児童の低年齢化に伴う保育士の確保が重要な課題と認識している。平成

28年度に保育士の賃金や休暇面の大幅な処遇改善を行ない、新たに8名の保育士を確保することができた。賃金等については、私立保育所等の動向を見ながら検討していきたい。

議員 保育所業務改善の検討はないか。

健康福祉部長 離職の原因に業務の多さがあり、保育士の負担軽減を図る観点から、保育士補助者の確保を充実させることが必要と考えている。

議員 「サービス残業」解消の対策はとったか。

総務部長 業務に必要な時間外勤務手当については予算要求を行なってもらい、査定を経て必要な予算は予算措置をする。あわせて不必要な時間外勤務をなくすために、所属長のマネジメント能力の向上を図っていく。



▲砂場で遊ぶ園児たち



田中 英雄
(市民クラブ)

**陸上競技場は
岱明中央公園グラウンドに！**

議員 岱明町のふれあい健康センターに公民館を併設し、岱明B&G海洋センターへ進入路をつくる計画がある。さらに岱明中央公園グラウンドを拡充して防災公園をつくり、普段は陸上競技場(400メートルトラック)として利用できるようにできないか。

教育部長 陸上競技場建設については、具体的な計画はないが、玉名市陸上競技協会からの陳情が平成27年9月議会において採択され、また、多くの皆さまの御意見、御要望により400メートルトラックの陸上競技場整備の必要性も感じており、将来的な学校再編による学校跡地活用の動向等も見ながら、スポーツ推進計画に盛り込んでいきたい。また、岱明中央公園グラウンドを拡張し整備すべきとの考えであるが、今後、具体的な整備計画を策定する際に、利用者や関係団体の意見を聞き候補の一つとして審議されるものと

新川漁港の不法係留をなくせ！

議員 避難港としての位置づけの長洲町側の新川漁港は玉名市に管理責任があるのに適切な管理ができていない。長洲町と早急に協議すべき。

産業経済部長 長洲町側の新川漁港は

岱明漁協の漁船が台風接近の際の避難港として利用しているが、現状では漁業者以外の船も停泊している。新川漁港の利用のあり方については長洲町や地元住民の代表者と玉名市及び岱明漁協とで意見交換を行っており、法的な部分の制限など、さまざまな課題があるが、今後も引き続き漁港の利用について、長洲町と協議会の設置も含め継続した協議を行なっていく必要があると考えている。



▲岱明町公民館～岱明B&G海洋センター周辺



嶋村 徹
(市民クラブ)

**アサリ貝再生への
取り組みについて**

議員 アサリ貝生産については、平成26年度横島漁協のアサリ生産量の5・8トンを除いて、市内4漁協とも平成25年以降生産量が全く無く、地元漁民にとっては死活問題だ、緊急に原因調査を求める。

産業経済部長 アサリ貝減少については、海岸工事や河川改修によるアサリ生息地の喪失、水質汚濁、底質の泥化などさまざまな原因が指摘されている。水産資源回復の取り組みは、覆砂、水産多面的機能発揮対策やアサリ稚貝育成事業により、干潟の耕うん、死殻など堆積物等の除去による生息環境改善及びアサリ稚貝の放流などを行っており、その結果、本年度はすべての漁協でアサリ貝の生産、出荷が行われている。今後も、漁協等関係団体と協力し、生息改善や徹底した資源管理の取り組みを行なう。

**高度成長期に建設された
スポーツ施設の老朽化対策について**

議員 ①岱明中央公園グラウンド、ジヨギングコースのラバー点検をすべき。②桃田運動公園の野球場掲示板の老朽化がひどく対策を急げ。

教育部長 ①ジヨギングコースは平成

7年度に建設した施設であり、経年劣化が見られる。施設をより快適に利用してもらえよう部分改修等を検討し整備に努める。②桃田運動公園野球場は建設から20年余りを経過しているため、電光掲示板については改修のため部品が既に製造されていない状況である。今後の大会等も考慮しながら基盤の入れかえ等も踏まえ改善に努める。



▲老朽化し点数表示が見えにくい得点板



多田 隈 啓二
(無党派)

本市観光行政について

議員 熊本地震により、風評被害で宿泊・式典のキャンセルがあり、温泉組合の方が大変心配されている。そこで、震災後の観光等への影響と今後の対策をどう取り組むのか。

産業経済部長 6月以降の宿泊予約状況は例年の2〜3割程度にまで落ち込んでいる。来年1月〜3月を対象期間に、一人当たり5千円の宿泊費補助を6千人分行なう事業を計画している。

本市独自の

復旧事業補助金について

議員 地盤沈下・液状化した農地の件で農業者の方は、稲刈りが今月で終わらないため補助金申請ができないとの声がある中で、申し込みを9月30日までで打ち切るのにはなぜなのか。どう対応するのか。

産業経済部長 年度内での復旧工事完了を考慮し、9月末の申請期限延長に



▲エアコンの早急な設置が求められる小中学校(21校)

については考えていないが、見積書等の添付書類がそろわない方については、事前に担当課へ相談していただきたい。

どう進める!!今後の教育行政

議員 小学校部活動の社会体育への移行について今後の対応・対策をどう考えるのか。

教育部長 コーディネーターを配置し総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会との連携や受け皿となる各種スポーツクラブの把握、スポーツ少年団登録のサポートに取り組んでいく。

議員 多数の小中学校保護者がエアコン導入を求めている中、具体的な計画と公平な設置の考えは。

教育部長 それぞれの学校の大規模改修や学校再編等を考慮し、計画的な空調設備の導入に取り組む。



北本 将幸
(無党派)

防災対策の強化について

議員 災害発生時においては、安否確認が重要事項の一つであるが、要援護者の安否確認体制はどうか。

健康福祉部長 災害時要援護者支援の名簿をもとに各消防団や民生委員により、要援護者の状況の把握を行なった。

議員 災害時の指定避難所における、バリアフリー等の整備体制はどうか。

総務部長 開設した避難所40カ所のうち、スロープと多目的トイレを設置しているのは21カ所。未整備の箇所は順次整備を検討する。

議員 熊本地震においては、福祉避難所の不足など対応がうまくいかなかった自治体もあるが、本市における福祉避難所の現状はどうだったか。

健康福祉部長 避難者に特別な配慮が必要な場合、市の判断で設置要請する二次的避難所は、現在まで10施設と協定し、受入人数は165名である。

議員 災害においては、こころのケア

等必要になるが、相談体制はどうか。

健康福祉部長 災害派遣精神医療チームによるこころのケア研修会を保育園、介護サービス事業所等で実施。母子保健推進員等にも周知し協力を得た。

議員 災害には、日ごろからの対策が重要だと思うが、職員に対する防災教育強化についての考えは。

総務部長 関係課連携の上、研修等を通じて、防災意識の徹底に向けて取り組んでいきたい。

議員 震災を経て、防災計画の見直しが必要になると思うが、見直しのスケジュールと方法はどうか考えているか。

総務部長 庁内39課や警察署等外部関係機関と検証会を実施。今後、来年5月の防災対策会議での承認に向け、実効性のある防災計画書作成を行なう。



▲地震直後、自主避難所には多くの人が避難してきた



内田 靖信
(自友クラブ)

熊本地震への対応と課題

議員 熊本地震に限定して農地災害復旧事業補助金と被災住宅等復旧事業補助金を市単独事業として制度化したが、風水害等の災害にも適用する恒久的制度とすべきでは。

市長 国の補助が無い部分の補助であり、熊本地震に特定した補助事業であるため、随時その時点で考える。

議員 被災者の実態を把握した地域防災計画の見直しが必要では。

総務部長 熊本地震の検証会を庁内全課、関係機関と実施しており、より実効性のある防災計画書の策定を行なう。

議員 防災行政無線再整備事業においては、急傾斜地を有する天水町や津波・高潮被害が想定される横島町、大浜、滑石、岱明町の一部には各家庭への戸別受信機の設置が必要では。

総務部長 防災行政無線の再整備については、屋外拡声器の設置を基軸としており、戸別受信機の配備は、各種防

災リーダーへの配備とする。

議員 屋根瓦の仮置場の受け入れが12月26日までとなっているが、一部損壊家屋の改修が遅れており、期間の延長が必要では。

市民生活部長 期間延長については、公費解体の進捗状況に合わせて、十分検討していく。

議員 災害対策基本法の改正で、り災証明の発行業務を市町村長の義務とし、災害担当職員の育成を求めていたが玉名市は怠っていた。早急に育成の必要があるが。

総務部長 今回の地震で、り災証明発行業務の重要性を認識した。災害担当職員の育成、配置について防災安全課による熊本地震の検証結果も踏まえた上で、検討していく。



▲熊本地震被災者支援課窓口の様子



松本 憲二
(自友クラブ)

どうするん？
玉名の今後を伺う

議員 基幹産業である農林水産業に対して今後の取り組みを伺う。

産業経済部長 アサリ貝については、漁場再生に向け、底質・水質改善、有害生物の除去、稚貝放流等を行ない、今後関係機関と連携し生息環境改善及び資源管理に取り組み。農業については、耕作放棄地の発生を未然に防ぎ、農業基盤の整備、農地集積・集約、営農組織の法人化による組織強化を推進する。

議員 玉名市立の小中学校の教育環境（Eアコン導入）の今後について伺う。

教育部長 玉陵小・中学校及び玉名町小学校は、校舎建設に併せて導入し、その他の小中学校には、それぞれの学校の大規模改修や学校再編の時期等を考慮し、空調設備の計画的な導入に取り組み。また、導入に当たっては、空調利用の期間や時間、設定温度など運用指針を定め、適切な運用に努める。

議員 新玉名駅開業から5年が過ぎた。駅周辺は文化財がたくさん出土する地域であり、発掘費用は1㎡当たり6万3千円もの試算が出されている。高層建築物では巨額の費用がかかると考えられるが、駅周辺の開発はあくまでも民間主導で行なうのか。

企画経営部長 新玉名駅周辺開発構想区域については、民間活力による開発を誘導するために、民間の進出に応じ、開発に係る諸手続きやインフラ整備等を積極的に支援する方針である。

市長 現方針の修正等も考える時期だと思うので、新病院や新玉名駅周辺道路の整備、新玉名駅周辺開発構想区域の整備方針の見直しなどを包括的に検討・研究する庁内組織を立ち上げた。



▲いつまでも開発が進まない新玉名駅周辺



近松 恵美子
(無党派)

足元の宝を大切にすることが第一！
岱明町公民館建設

議員 旧市役所跡地に建設を計画した子育て支援センターについては、既存の子育て支援センターを休日にも開館することで対応するというところであるが、現在の子育て支援センターは、乳幼児向きであり、休日に小学生などを伴って遊べる施設ではない。ふれあい健康センターのトレーニングルームは、子どもを遊ばせるのに最適の施設であるが、なぜ母子保健推進員さんなど関係者に知らしめないのか。

健康福祉部長 既存の子育て支援センター等の活用を図り利用者の支援を充実していく。ふれあい健康センター等既存公共施設の有効活用を関係者に周知する。

議員 岱明町公民館建設案は、ふれあい健康センターに事務所とトイレなどを増設し、それ以外をリフォームするというものであるが、公民館としては非常に使いにくい。岱明ふれあい健康

センターが今後介護予防の拠点となることや、小学生の部活がなくなり、総合スポーツクラブ構想も練っていく時期にあることなども区長さんに説明しているのか。子どもたちの利用が夏は月に200人あることも把握しているのか。また、市内の類似施設と比べて極端に利用料が高くて、一般人が利用しにくいことを是正もせず、利用が少ないからリフォームして公民館にするというのはどうか。

企画経営部長 区長会には、市としての今後の公共施設のあり方や現在地建かえと比較した結果、複合化のための整備内容等を説明した。天水地区等の事例と同様に、既存施設の有効活用や集約複合化等による効率的な施設あり方を考える必要がある。

※その他、介護予防について質問した。



▲増改築して公民館となる案が出ているふれあい健康センター



福嶋 譲治
(無党派)

新玉名駅駐車場
拡張後はどうなる？

議員 新玉名駅駐車場については有料化など長い間議論されてきたが、3月議会において駐車場拡張関連予算が、僅差で承認された。それを受けて今回用地取得に関する議案が上程されたと認識する。早朝には、やや余裕があるように感じるが現在の駐車状況を把握しているか示してほしい。一市民の方が独自に早朝の駐車状況を調査されている。この数字との差異はどうか。

建設経済部長 常設駐車場は約250台分あるが、それでも週末にかけては100台程が不足している状況である。また、宿泊台数も一般の方の調査と同様であった。交流広場や多目的広場の臨時駐車場が満車と予想される場合は交通整理人を3人配置し、交通に支障のない場所に誘導し対応している。

議員 買収予定地の図面を見るとケースデンキ、ズデンキの裏を階段状に買収するため、真つすぐ伸びる農道との間に残地が出

る。これは利用価値の少ない死地になりかねない。駐車場不足を補うだけの場当たりの施策にしか思えない。周辺地域の対策は考えてあるのか。市民の方も駐車場問題は心配している。有料化が最良の策だと考える。

建設部長 西側の境界が南北に直線でないため、全体的に不整形な土地利用になっていることも認識している。計画では分筆して交渉することを検討したが、狭小地が残ることになるため、地権者に不利益を与えないよう全筆買収に至った。事業範囲は駐車場の不足分をカバーする面積とした。今後、開発業者が隣接地に進出の場合は、市と開発業者との間で境界が直線になるように面積等価交換を行ない、互いに有効活用できるように考えている。



▲新玉名駅駐車場増設予定地(用地のうち8,460m²を買収予定)

一般質問



宮田 知美
(市民クラブ)

「気になる子」支援体制の連携について

議員 小学校において、幼稚園や保育所での就学前の様子や実態、健康状態などが記載されている幼稚園幼児指導要録や保育所児童保育要録はしっかり内容を検証され活用されているのか。

教育部長 要録には、就学前の様子や実態、健康状態等が詳細に記載されており、特に配慮を要する子の行動面での注意点や、幼児一人一人の発達に応じた指導方法など、就学後の児童に関する貴重な情報として、活用している。
議員 平成25年度から保育園にはスタッフ向けにサポートを行なっているが、幼稚園に対しては具体的な支援を行なっているのか。

健康福祉部長 幼稚園に対しても乳幼児健診事後フォローの年中児訪問を実施し、子どもの発達支援について問題解決できるよう子育て支援課の心理相談員のサポート対象を認定こども園や幼稚園へと拡大し、園内の体制整備と

職員の保育の質の向上のために支援している。

議員 妊娠時から子育てや将来まで切れ目のない支援体制を一元化できないか。

健康福祉部長 現在、妊娠時からの支援について保健予防課（母子保健事業）・子育て支援課（保育と手当て）・総合福祉課（療育事業）、教育委員会（幼稚園と就学）が事務を執行している。切れ目のない支援を推進するために関係部署間の連携や事務の効率化を検討するとともに、市民にわかりやすい組織づくりを推進する観点からも、関係部署の一元化を図るなど市全体の体制整備が望まれるが、管轄省庁の違いや、職員の人員配置などの検討課題があるので、慎重に検討していく。



▲5歳児による「火災予防ポスター」の絵

委員会研修報告

議会基本条例策定に向けて

総務委員会

10月5日から7日にかけて、愛知県岩倉市と大阪府八尾市において、議会基本条例をテーマに行政視察を行なった。

岩倉市においては、議会基本条例を礎にした議会改革を行なわれており、平成23年に条例を施行、議会と議員の担うべき役割を明文化されていた。

研修時においても、岩倉市議15人中12人の参加をいただき、議員一人一人が責任をもった対応をされ、充実した意見交換をする事ができた。議員一人一人に議会の活性化の熱意を感じる事ができた。

八尾市においては、大規模自然災害発生時における市議会と市長部局との連携や、議員の対応等について研修を行なった。市長が災害対策本部を設置した際は、議会も災害対策会議を設置し、議員が速やかに本会議等に応召できるようにするなど、議員の対応を示した内容であった。玉名市でも熊本地震の際の市議会としての対応を検証する必要性を感じた。今回の研修は、玉名市議会として策定予定の議会基本条例の基礎となる有意義な研修となった。



▲八尾市での視察の様子（大規模自然災害発生時の対応を伺う）

小学校跡地に企業を誘致。雇用創出したい地元の思いも

建設経済委員会

10月4日から6日にかけて、建設経済委員会の行政視察を実施した。

京都府長岡京市では、上下水道の災害対策について視察した。災害時に避難所となる全小学校体育館の屋外にマンホールトイレを整備したり、断水した際に給水活動がスムーズにできる給水車を保有するなど、管渠などハード面だけでなく、給水やトイレ等を提供するソフト面への対策も十分に考えられていた。本市でもハード面の整備は進められているが、今後はこうしたソフト面の対応も急がれたい。

兵庫県養父市では、廃校となった小学校に企業を誘致している。小学校跡地を活用し企業を誘致することで、雇用を生み出し、地域を活性化したいという地元住民の思いがあった。今回、現地視察で同った企業は、体育館をリフォームしてお酢の製造工場に、校舎の1階を事務所にしていた。そして、空いた校舎の教室等は地元住民らに開放するとともに、社員のほとんどを地元から雇用し、地域との交流を積極的に行なっていた。学校跡地を再利用するメリット・デメリットをお聞きする中で、利益も大事だが、人とのつながりが大切だという所長の言葉に感銘を受けた。本市でも、小学校跡地利用が議論されているがこうした誘致企業による取り組みを検討することも必要になるのではと感じた



▲長岡京市で災害時の給水設備を視察

高齢者の生きがいづくりで介護予防や地域づくりを実践！

文教厚生委員会

10月5日から7日にかけて、滋賀県栗東市、愛知県半田市、愛知県北名古屋市に行政視察を行なった。

栗東市では、65・66歳の新規高齢者を対象に、「老い方」を学ぶ場として役立ててもらおうと年40回の「栗東100歳大学」講座を開講しており、講座卒業生を中心とした新たな活躍と生きがいづくりを支援している。

半田市では、全国に先駆けて設立された総合型地域スポーツクラブとの協働・支援が既に実践されており、スポーツ教室の委託やボランティア指導者の研修、合同会議による相互情報交換が行われている。

北名古屋市では高齢者を対象に、昔懐かしい生活用具を用いて思い出を語り合い心を元気にする回想法事業を実施。全8回の回想法スクール修了後は、卒業生の会「いきいき隊」として、交流活動や地域貢献活動にも力を発揮している。

本市でも先進地の取り組みを参考に、多くの市民の生きがいづくりや社会貢献の場を創出することで介護予防や認知症予防、地域づくりに繋げる取り組みが必要と実感した。



▲施設案内に取り組む「いきいき隊」の皆さん（北名古屋市回想法センター）

読んでもらえる「議会だより」づくり研修

議会報編集特別委員会

8月23日から25日まで、高知県四万十市と中土佐町に行政視察を行なった。

四万十市の広報広聴委員会は、議会報の発行だけでなく、広報広聴機能の充実を目指し、新たな取り組みが行なわれていた。その中の一つが議員及び事務局職員が投稿するフェイスブックによる情報発信で、四万十市議会の情報が広く素早く発信されていた。今回の行政視察の状況も、早速翌日には「玉名市議会の視察」と投稿されており、スピード感を持った幅広い広報への取り組みを学んだ。

中土佐町では「より親しまれ、読まれる紙面づくり」をコンセプトに、常に議会報をめぐるだけで興味を持たれ、かつ内容もわかりやすい議会報づくりを心がけられ、広報常任委員会の委員が丸となった工夫された内容であった。広報クリニックや広報全国町村コンクール出展時の講評や町民アンケートも踏まえ、町民の方々によりわかりやすく伝える議会報づくりの思いが感じられた。



▲中土佐町における熱のこもった行政視察

特別委員会委員の紹介

(◎は委員長、○は副委員長、敬称略)

◆決算特別委員会(定数11名)

平成28年9月2日設置

- ◎吉田 喜徳 ○徳村登志郎 西川 裕文
- 内田 靖信 横手 良弘 福嶋 讓治
- 宮田 知美 高村 四郎 中尾 嘉男
- 小屋野幸隆 竹下 幸治

◆議会基本条例検討特別委員会(定数7名)

平成28年9月27日設置

- ◎江田 計司 ○北本 将幸 多田隈啓二
- 松本 憲二 城戸 淳 田中 英雄
- 小屋野幸隆

本会議・委員会の傍聴・視聴を!!

定例会、臨時会はどなたでも傍聴できます。3常任委員会(総務・建設経済・文教厚生)、特別委員会についても、各委員長の許可を得て傍聴することができます。

各議員の活発な意見や執行部の考え、方向性が聞けると思っています。ぜひおいで下さい!!

また、現在、定例会・臨時会の本会議や3常任委員会の会議状況は、市役所1階ロビーや各支所で放映していますし、インターネット、ひまわりテレビでも放映しています。

過去の定例会・臨時会については、ホームページにて録画映像をご覧いただけます。

12月定例会予定

21日	14日	13日	12日	9日	8日	12月7日	28日	11月21日
水曜	水曜	火曜	月曜	金曜	木曜	水曜	月曜	月曜
採決 定例会閉会	文教厚生委員会	建設経済委員会	総務委員会	一般質問	一般質問	一般質問	定例会開会	議会運営委員会

※都合により変更になることがあります。

今回は、地域の皆さんのために消防団員として尽力していただいている4名の方に「消防団活動を通して」というテーマでのお声をいただきました。

お忙しい中にご協力いただきまして本当にありがとうございました。

消防団活動を通して



玉名地区 村上篤子

私は、平成14年度に結成された玉名市女性消防隊に入隊して14年が経ちます。14年間の中でいろんな経験をさせてもらっています。火災予防週間では、保育園などに行き

紙芝居や寸劇を通して啓発活動を行ったり、出初め式では通常点検を披露するなど、主に啓発活動をしています。現在13名で活動しております。4月に発生した熊本地震では避難所へ出向き避難者

継ぐ



横島地区 岩井栄一

私は横島町の干拓地域に住んでいます。この地区は八十軒も無い少数ですが、海岸線や農協施設、牛舎等の広範囲の警戒を担当しています。消防団活動を通しては、

いました。それだけでもすごく喜んでいただきました。これから消防を通して市民の方々とふれあい少しでも手助けできるようにまだまだがんばって行きたいと思っています。

消防団活動を通して思うこと

地域の要望を第一に考え、先輩方や過去の情報の蓄積を図りながら団員の活動意識の向上に注力しています。

先日震災や豪雨の対応についても、地域の声や団員の気付いた点を会議でも発議し続け、災害時に迅速に対応できる体制を築ける様今後も後輩に継ぎて行きたいと思えます。地域在ってこそ消防団。それを肝に銘じて欲しいです。

消防団活動を通して



袋明地区 福田真一

私は玉名市の消防団員となり4年目になります。最初の勧誘は、仕事が不規則な時間であることを理由に断りましたが、しばらく後に、友人が団員だったため誘わ

れ入団しました。今年は操法大会という大会の担当のため、選手の一人として練習に参加し、一人一人が時間に挑戦しながら取り組みました。部の先輩方だけでなく、他の部からも応援して頂いて「睦合の消防団」として団結出来たと思います。残念ながら入賞はなりませんでしたが、今回のことは、とても良い経験になりました。今後も団結して地域の防災に貢献していきたいと思っています。

女性消防隊として取り組み



天水地区 有田希

今年熊本地震が起きたことで、私自身防災について無知である事に気づかされました。いつ地震や火災等の災害が起きるかわかりません。だから日頃から防災につ

いて考え、学び、自らの安全は自らで守るという意識が大切だと思います。私は女性消防隊に入ってから一年と短く、経験も少ないので、活動を通し更に知識や経験を増やして、それを啓発活動や訓練に活かせるよう努めたいです。また、住民の方に寄り添いながら活動する女性消防隊だからこそ、住民の声を多く聞き活動の幅を広げ、防災意識を高めていきたいと考えます。

編集後記

9月議会も終わり、私が議員となり、3年が過ぎようとしている。「皆さまの声を市政に」との思いで頑張っている。

「見やすい！分かりやすい！」を念頭に入れ、編集していきたい。

市政に対する議員のより強い思いが、市民の皆さまに届くように、今回の議会だよりから、一般質問者の顔写真を常のものにした。今後も改善点を常に探り、議会の活動をより身近に感じていただけるよう、前例にとらわれず新たな視点から伝えていく。

一人でも多くの皆さまに、この議会だよりに関心を持っていただけるよう頑張っていきたい。

議会報編集委員会

委員 多田限 啓二

☆表紙の題字

「市議会だより」は、



有明中学校 3年 丸山桜華さんの作品です。